

やっちゃんえ!

撫子さん

ADULT ONLY



前回までのあらすじ

妹の旧友である千石撫子。

僕は成り行きで彼女に手を出してしまった。ヤってしまった。弁解の余地もない程に。

戦場ヶ原にバレルのが怖くなった僕は忍に血を吸ってもらったことで生命保険をかけた。

しかし――

反省はしても後悔はしていない僕は調子に乗って千石を呼び出し再び合体。

あなたももう一度合体したい。アクエオオンである。

そんな二度に渡る千石との情事はあつさり戦場ヶ原にバレルしまった。

流血沙汰確定である。

実際に血は流れている。既に。僕の血が。忍に血を吸ってもらっていなかったら死んでいたんじゃないかってくらいに。

学習塾跡に千石を呼び出すよう言われた僕は逆らうこともできず千石を呼び出す。更なる流血沙汰が予想されたのだがこれまた思わぬ展開となった。



阿良々木くん

セックスを
します



は……？



違うわね
こうじゃないわ

セックスをして……
いただけませんか

セックスをし……
したらどうな……です

セックスをしましょう
阿良々木くん

ええ……っ!?

でも戦場ヶ原
それは——

黙りなさい
このゴミ虫

ゴ……っ!?

貞操とかそんなことを
言ってる場合じゃないの

目には目を!
歯には歯を!

セックスには
セックスを!

何言っちゃってんの……!

最悪の事態は
避けられた
みたいだけど…

こんなことに
なっちゃって
すまない
千石……



いやいやいやいや
突然の展開に僕は混乱しているんだ
幻覚に違いない
あの千石がこの展開を
「計画通り」なんて思うはずがないんだ
ちよっと冷静になろう

そういえばこの前買った
えっちな本どうしたわけ？
あ、そうだ火橋ちゃんの
ベッドの下に隠したわけ？
ん？月火ちゃんのベッドだわけ？
月火ちゃんとベッドインだわけ？
ん？あれ……なんだわけ？



え？何？
計画通り？
これって計画
通りなの？
わからない
わからない
ワケワカラナイ

はあ……
はあ……
はあ……

はは



ちゅぶ...

ん...
んぶ...

戦場ヶ原
んぶ...!!

ちゅぶ
ちゅぶ
ちゅぶ

ちゅぶ

阿良々木くん
勝負はもう
始まっているのよ

ぬろお...

さあ
さつさと出さない

唇おにいちゃん
撫子もするよ



ん...
あふ...

ちゅぶ...

はあ...

ちゅぶ
ちゅぶ
ちゅぶ

ちゅぶ
ちゅぶ
ちゅぶ



阿良々木くん
今度は…こっち

べっ…別に

阿良々木くんの
欲しくなった
とかじゃないから



戦場ヶ原
あああ!!

ああ…あ
入って…
阿良々木くんの
お…汚ち…ほ

はあ…

はあ…
はあ

ちゅ
ちゅ

カッ
カッ
カッ



あ…ん♡

あ…♡

ち○ほ…

奥…まで♡

中に…中に出すぞ！
戦場ヶ原の中で
射精してやるっ！

戦場ヶ原の中
ぬるぬる絡みついて
気持ちいい！

はっ

はっ
はっ



♡

♡



私も…イク…
射精でイ…く…

阿良々木くんの
中出しで…イ…



ひゃ…ん♡

ちゅんんん



ああ♡

アッ
アッ

アッ♡
アッ

ぬ♡
アッ

は…あ…
阿良々木くんの
い…ばい…

はあ…



暦おにいちゃん
今度は撫子の
おま○こで気持ち
良くなる番だよ



はあ…

はあ…



おち○ちん入れたら
撫子も気持ち良くな
っちゃう♡う♡



暦おにいちゃんを
気持ちよくしなきゃ
いけないのに…

ほんととは…
あん♡



入ってくるう…

はあ…ああ♡

むしゃっ♡



あああ…♡

もう出ちやう？
撫子も…中で
びゅーってしてえ♡

暦おにいちゃんの
おち○ちん
すごくピクピク
いってる…

はぁっ♡

はぁっ♡

は…あ

ん…

ぬらっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡



いいぞ千石

お前でも
中出ししてやる

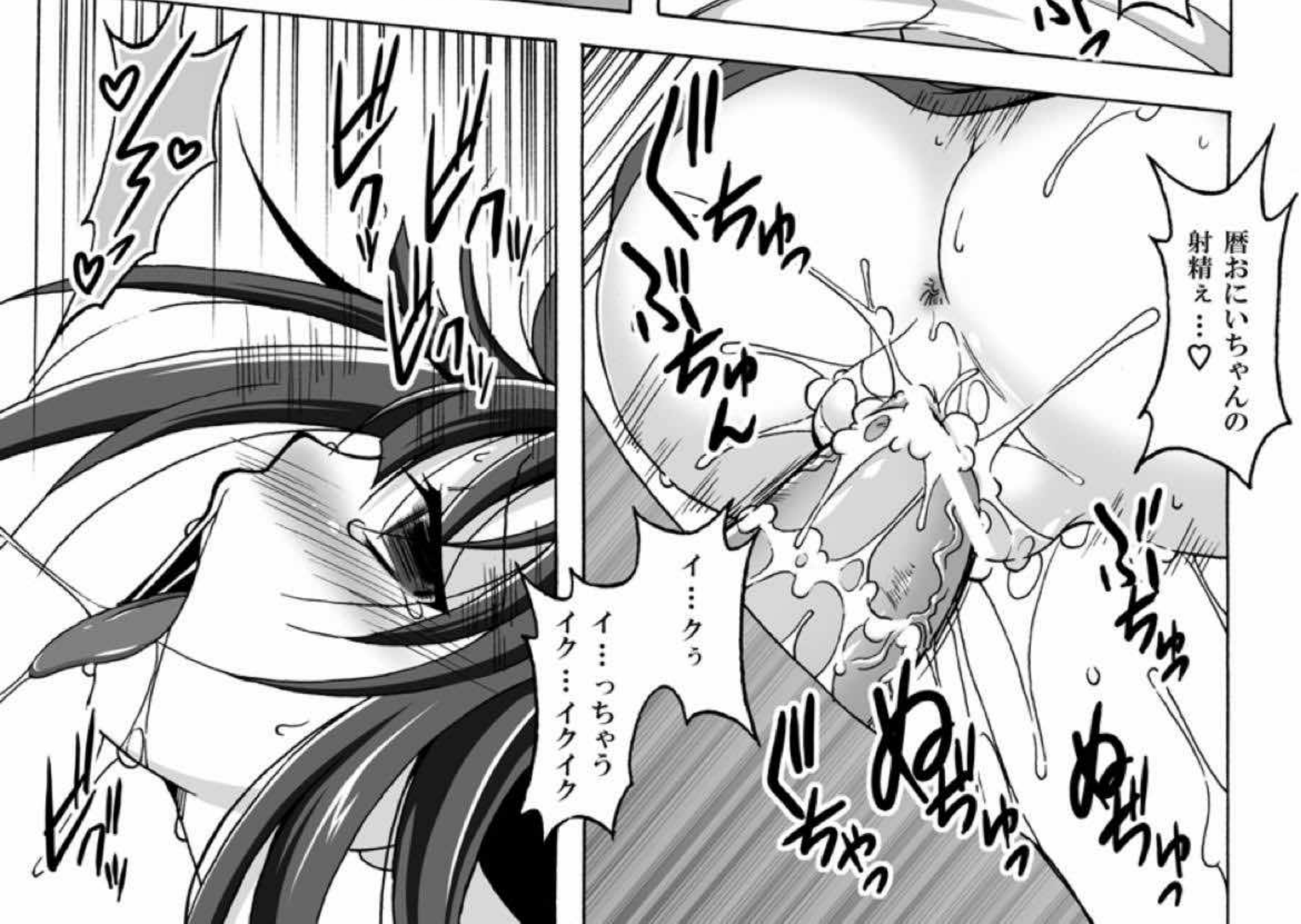
はあ...♡

撫子も...

も...う...

お前ももう
イクんだらう

僕の射精で
イかせてやるっ!



暦おにいちゃんの
射精え...♡

イ...クう

イ...っちやう
イク...イクイク





※千石、戦場ヶ原には真宵は見えない



あああ…♡

阿良々木先輩
の精子が…

お…ほ



しゃ…ん

あ…りや
りやぎ…

はあ…



あ…ん♡
阿良々木くんの
精子い♡

出てるう



はあ…
はあ…

これで…
暦おにいちゃん
ずっと……♡

後話 - アトガタリ - (° ㏎ °) ♪ ~

暑っ! 暑いっ! 暑すぎる!! と一も、夏空 葉月です。
今年は節電の夏です。そいゃあ電気屋さんから扇風機がなくなります。
自分も扇風機買ってできる限り節電してますが、なんともかんとも…(° ㏎ :A
節電も大切ですが、どうかみなさんも体調だけは壊さないように。

えーと、ひとまず化物的な話をば。
これを描いてる頃に丁度「囃物語」が読み終わりました。
その前の「花物語」の内容が内容ただだけに、結構軽めの展開を
想定していたのですが、予想の斜め上をいっちゃってくれました(笑)
撫子おおお~~~~~っ!!! Σ(T□T)
「傾物語」も奇抜なストーリーでしたが、忍が可愛かったのでOK!
忍可愛いよ忍! だんだん忍がいれば何でもよくなってきた!
しかし語り部が阿良々木くんでないと何か物足りない感じがしますね。
阿良々木くんの変態っぷりが好きです。惚れます。濡れる!
このシリーズの化物話も終盤に入りました。
さてさて、どんな展開になるか楽しみです♪(°ω°*)

さて、グダグダ三作目まで伸ばしてきたこの話ですが今回でおしまいです。
無理やり続けたせいでとんでも展開になってしまいました。すみません。
最後だと思って許してやってくださいね(°ω°)>

夏空 葉月





※「中まで入れろ」というので色々入れてみた





奥付(° 且°)y- ~

■発行■

AIR UNION

■発行日■

2011年08月14日

■誌名■

やっちゃんえ！撫子さん 参

■連絡先■

kit-cat@beige.plala.or.jp

■URL■

<http://maretama.web.fc2.com/>

■印刷■

ねこのしっぽ様

